

社会福祉基礎「児童福祉論」

令和5年5月19日

「児童福祉論」の授業では、和泉短期大学の吉田久仁子先生をお招きして、「保育士になるってどういうこと？」をテーマにお話しいただきました。

保育士は、遊びを通して「すごいね！面白いね！不思議だね！」を体験できる環境を提供し、子どもの成長を支えていく仕事です。



身近にある「あそび」

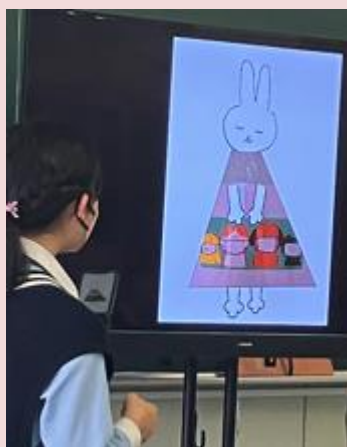
フレーム越しに見る

だけで、違った景色に

見える！！



屋上



掲示物



テニスコート



書道の掲示物



雨の日の中庭



屋上の花壇

生徒の声

・別の授業で「子どもの発達と保育」をとっているが、そこで学ぶことはまた違った視点で保育や子どもとの関わり方を知ることができた。

・小さい頃から大好きな絵本が実習に使われたのが嬉しかった。先生の読み方がとても上手く、幼児が楽しめる話し方をしてくれているのが伝わってきた。

・絵本を読んだ後に話に関する遊びができたのがとても楽しかった。

・楽しさと学びを考えて遊びを作る保育士さんはすごいなと感じた。

・自分の価値観や見方だけでなく、こどもが、やっていることを一緒にやってみたり、子供の視点に合わせてみたりするのはとても大切なことだと思った。